

文化団体紹介

新十津川町文化協会に加盟する団体を紹介します。

今号はどんぐり俳句会です。見学は自由で、会員を募集しています。

どんぐり俳句会

団体概要

戦後すぐに土岐鍊太郎氏（田満寺の先代住職）が、全国に先駆けてアカシヤ俳句会を創立し、その支部として町内に句会を立ち上げました。ちなみに名称の「どんぐり」は、誰の句も、どんぐりの背比べであるようにと、土岐氏が命名したと伝わっています。

※俳句について 五・七・五の十七

音を定型とする短い詩。季題や切字を読み込むのをならいとする。

明治中期以降に広まった呼称である。短歌と共にわが国短詩型文学

の二潮流。（広辞苑から引用）

年会費 2000円

活動日 毎月第1月曜日

午後1時～2時30分

活動場所 ゆめりあ

会員数 10人

部長 金行康子

活動内容

毎月第1月曜日に句会を開いています。句会とは、複数の人が自作の俳句を提出し、互いに評価しあったり、指導者（選者）の指導を受けたりする集まりのことです。句会当日に、あらかじめ決めておいた題（兼題）による俳句を2句、自由な題による俳句を2句を投句（提出）します。

投句された中から、共鳴句（自分が良いと思う句）を選び、点数を付けます。その点数を合計して評価し合い、楽しんでいきます。

会員から一言

・歴史は長く、たくさんの方がいた時代もありましたが、今は会員数の減少に悩んでいます。

・五七・五たった十七音の世界ですが、実に奥が深く広い世界です。

・俳句は難しいと思っていませんか？ 簡単に楽しく俳句を作ることが出来ます。ぜひ見学にお越しください。



問合せ 文化協会事務局（教育委員会内） ☎ 76-4233